

一 般 質 問

議席番号	6	議員氏名	本 間 政 道
項目・要旨	1. 地方版図柄入りナンバープレート（ご当地ナンバー）の導入について		
	<p>2025年の道路交通法改正により普通自動車運転免許証を取得した人が最高出力を抑えた125ccのバイクを運転できるようになるそうです。</p> <p>近年でもバイク人気はありますが、もっと手軽に身近なものになると考えられます。</p> <p>税収面においてもプラスになると考えます。</p> <p>寄居町の近くでも、小川町・美里町・皆野町・横瀬町・神川町・上里町など多くの自治体でご当地ナンバーが使用されています。“走る広告塔”として、地域の風景や観光資源を図柄としているところが多いようですが、ご当地の企業と提携しているものは無いようです。</p> <p>企業との提携・協力ができれば良いと思います。</p> <p>平成24年9月議会でもご当地ナンバーの一般質問があり、前向きに検討するとの答えがあったかと思えます。</p> <p>そこで、その後の経過等を含めて伺います。</p> <p>(1) 2024年4月1日現在の第一種、第二種原動機付自転車の登録台数を伺います。</p> <p>(2) 県内での導入状況について伺います。</p> <p>(3) 町民からご当地ナンバーの要望や質問等があったのか伺います。</p> <p>(4) ご当地ナンバーを採用することに対して町で想定するメリットまたはデメリットがあるのか伺います。</p> <p>(5) 企業のロゴマーク使用など企業との連携が可能なのか伺います。</p> <p>(6) 当町での導入計画があるのか伺います。</p>		
項目・要旨	2. 寄居町の施設命名権（ネーミングライツ）の導入について		
	<p>寄居町公共施設等総合管理計画（令和5年3月改訂）の財源確保等の方針の中で、施設等の有効活用の項目で「民間への施設利活用の増進に関する提案を求めるとともに、広告事業やネーミングライツなど、公共施設を有効に活用することによる新たな財源確保について検討する。」とあります。</p> <p>ネーミングライツの対象は、スポーツ施設、文化施設、複合施設、道路、公園など町が所有する公共施設及び付帯施設に導入されています。</p> <p>日本の公共施設では、2003年調布市の東京スタジアムが味の素スタジアムとなり、現在もその名前で契約が続いております。</p> <p>近年、埼玉県内の自治体でもネーミングライツの登録が多く行われているようです。</p> <p>近隣の自治体では本庄市や熊谷市などがあり、特に本庄市では多くの施設に企業</p>		

名が採用されています。

寄居町でも、このネーミングライツをきっかけに民間企業とパートナーとして連携していくこと、また、施設管理の財源確保や利用者のサービス向上等に役立てられることが可能と考え、多くの企業に採用していただけたらと期待をしています。

そこで伺います。

- (1) 町の施設などのイメージアップや利用率の向上を図り、新たな財源を確保するため、ネーミングライツを広く導入するべきと考えますが、町の認識について伺います。
- (2) ネーミングライツを導入する課題について伺います。
- (3) 企業や町民にどのような周知をされたのか伺います。
- (4) 寄居町ではネーミングライツの規定について定められているのか伺います。
- (5) 今後、ネーミングライツの新しい施策や事業をする考えがあるか伺います。

3. 受動喫煙対策としての分煙環境の整備・推進について

近年、増税や環境などいろいろなことから、たばこに対する規制は厳しいものとなっております。

ですが、本来“喫煙を愉しむこと”と“受動喫煙を望まないこと”はともに憲法で保障された権利であり、喫煙者は受動喫煙を望まない者の権利を侵害してはならず、一方で合法的な嗜好品である、たばこの喫煙者を社会的に排除することがあってはならないと思います。

双方が共存できる社会を推進することが重要であり、そのためにも「分煙環境の整備・推進」が必要と考えます。

たばこの税収は寄居町でも年間2億5千万円ほどの収入があり、貴重な一般財源として長年にわたり貢献しています。

また、総務省では「望まない受動喫煙対策の推進や今後の地方たばこ税の継続的かつ安定的な確保を図るため、公共又は民間の屋外又は屋内の分煙施設の整備が考えられることから、地方たばこ税の活用を含め必要な予算措置を講ずるなど積極的に取り組んでいただきたいこと。なお、一定の屋外分煙施設の整備に要する経費については、特別交付税措置を講じているところである。」と通知しております。

そこで、寄居町分煙対策について伺います。

- (1) 地方たばこ税を活用した分煙施設の整備・推進に関する総務省の通知等について、町の考え方や受け止め方を伺います。
- (2) 公共施設の分煙対策については、官公庁などは建物内禁煙、また学校や病院などは敷地内禁煙など、厚生労働省が方向性を示していますが、寄居町における公民館やコミュニティーセンター、公園など多くの町民が利用する公共施設の喫煙スペースの設置状況はどうなっているのか伺います。
- (3) 東京都港区では、「みなとタバコルール」を2003年8月からスタートさせています。この施策は、区が設置する喫煙場所以外での路上喫煙とポイ捨てを禁

止し、環境美化を図ることを目的としています。そのため、たばこ税の1%を事業費として予算計上し、吸い殻の清掃委託費や喫煙場所の整備費等に充てています。

このように、寄居町でもたばこ税の一定割合を予算化し、分煙環境の整備に取り組むべきと考えますが、町の考えを伺います。

一 般 質 問

議席番号	8	議員氏名	権 田 孝 史
項目・要旨	1. ふるさと納税（企業版含）について		
	<p>令和4年度総務経済常任委員会の閉会中の特定事件について調査研究を行い、令和5年3月定例会でまとめを報告いたしました。</p>		
	<p>ふるさと納税は自主財源の確保だけでなく、町のPRやアピールにもつながります。職員の働きだけでなく、しっかりとしたポータルサイトを選び、活用してPRして行くべきです。</p>		
	<p>また、町内事業者と連携を取り、新規開拓、PRを積極的に行っていただき、企業版ふるさと納税では、企業が望むものとのすり合わせをしっかりと行うべきと考えます。</p>		
	<p>そして、「職員のやる気が重要であり、職員のアイデアを十分発揮できる体制が必要ではないか。」と委員会で報告しました。執行に対して、「自主財源の確保という、ふるさと納税の重要性を改めて認識し、目標をきちんと設定して、それに向けて様々な努力をしていただきたい。」と要望いたしました。そこで伺います。</p> <p>(1) 寄居町での、過去3年間のふるさと納税の収入額・支出額を伺います。</p> <p>(2) ふるさと納税担当職員は、専門職として対応しているのか伺います。</p> <p>(3) どの様な目標を設定し、PDCAサイクルを活用し、目標達成への取り組みをしているのか伺います。</p>		
2. 城南中学校区小中学校集約化について			
<p>児童生徒数の減少にあたり、令和5年3月の議員全員協議会で、城南中学校区小中学校集約化調査・検討業務の概要についての説明がありました。令和6年2月議員全員協議会では、城南中学校区小中学校長寿命化・集約化検討事業についての説明があり、地域住民を交えてのワークショップを行い、より良い方向で最終決定がなされると思いますが、鉢形小学校と折原小学校の2校を集約し、新校舎建設となった場合の、諸問題が検討されていると思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 5月9日に最終説明会が開催されたようですが、今後のスケジュールについて伺います。</p> <p>(2) 男衾中学校長寿命化改修事業を例に、一貫校・一貫教育としての体制や組織についてどのように考えているのか伺います。</p> <p>(3) スクールバス運行には、規定やルールがあると思いますが、町独自としての考えを伺います。</p>			
3. 通学費の無償化について			
<p>今年度予算に学童保育利用者に1,500円の補助金を実施されることに対し、保</p>			

護者の方からは、「有難い」と言う声が耳に入り、大変に良い施策だと思いました。

以前、広報広聴活動の中学生インタビューの時に、「義務教育なのに、電車を利用して通学する通学費が無料にならないのですか。」と質問がありました。

通学の距離で定められている問題等で現状に至っていると伺いました。これからの公共施設の統廃合に向けての課題として、スクールバス運用と同様に電車通学を考えるべきです。

小中学生の通学費の無償化の検討が出来ないか伺います。

(1) 2項目めの城南中学校区小中学校集約化でも伺いましたが、町独自としての考えを伺います。

(2) 学童保育利用料の一部補助と同様に考えれば、通学費の無償化は移住促進に繋がると思いますが町の考えを伺います。

一 般 質 問

議席番号	4	議員氏名	津久井大雄
項目・要旨	1. 家庭から出る可燃ごみについて		
	<p>寄居町では、現在週2回家庭内から集積所に出た可燃ごみを、大里広域市町村圏組合の処分先、江南清掃センター及び深谷清掃センターで焼却処理を行っています。排出方法といたしまして、透明袋、半透明袋の条件がございます。</p> <p>寄居町では、令和4年度には約7,900トンの可燃ごみが家庭から排出されています。</p> <p>残念なことにごみ集積場に排出されたごみをカラスや猫、そしてハクビシン等に荒らされ、食べ物や食べ物以外のごみが散乱して町民は悩まされています。</p> <p>そこで伺います。</p>		
	<p>(1) 町内の集積場で民地や道路の一部を借りている箇所はどのくらいあるのか伺います。</p> <p>(2) ゴミステーション等の購入で、町内会で議論をしている話をよく聞きます。町では購入費等の補助があるのか、何か負担しているものがあるのか伺います。</p> <p>(3) 町内会に加入していない若者や外国人が昨今増えていると聞きます。加入しない理由を町はどのように考えているのか伺います。</p> <p>(4) 高齢者の方や障害者がおられるご家庭に対して、何か支援をされているかどうか伺います。</p>		
	2. 用土グラウンドについて		
<p>用土グラウンドは、本田技研工業株式会社と賃貸借契約をしていたグラウンド(Bグラウンド)ですが、2013年3月末に町に返却されています。グラウンドは、整備されていて、スポーツ少年団に貸出しされています。</p> <p>そこで、今後の用土グラウンドの在り方について伺います。</p>			
3. 町のお祭り等について			
<p>第60回小田原北條五代祭りに議員として初めて5月3日に参加させて頂きました。観光客が30万人と聞きその規模にも驚嘆いたします。寄居町でも、先月には寄居北條祭りが開催され、近隣の市町村や近県から大勢の人の来町があり大いに賑わいがありました。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 寄居北條祭りの反省点や問題点があったら教えて下さい。</p> <p>(2) 現在の寄居町観光協会の組織について町の考えを伺います。</p> <p>(3) Y o t t e c o内売店及び、円良田湖畔売店の地元特産品等の売り上げについて伺います。</p>			

(4) 寄居玉淀水天宮祭まで残り2か月余りですが、舟山車の船頭について、何か進展があったかどうか伺います。

4. 役場職員の離職について

今年3月に寄居町役場を離職した職員が11名いたと聞いています。働き方改革の昨今ですから様々な問題等もあったと思います。

そこで伺います。

(1) 離職した理由は何か伺います。

(2) 3月議会の予算の時も質問いたしました。職員の有給休暇制度や給与や賞与等近隣市町村との比較を伺います。

5. 被災時のペット等同伴避難所について

能登半島地震の被災者が少しでも快適に安全に過してもらえるよう、避難先で、無料で滞在できるホテルや空き家情報を石川県の民間団体が集約して発信しているサイトや、一軒家やアパートを被災者と貸し手をマッチングするサイトがあります。

また、石川県珠洲市ではペットと飼い主と一緒に過ごせる避難所が開設されたと聞きました。ペットと同伴できず、被災した家屋にとどまって遭う2次災害や災害関連死を防ぐためにもペットと飼い主と一緒に過ごせる避難所は必要と考えます。

そして、子どもが泣いたり騒いだりしても大丈夫な場所、落ち着いて授乳等が気兼ねなくできる場所の確保も必要と思います。

そこで伺います。

(1) 現在の住宅業界でのペット愛好家住宅ですが、全国平均ですが36%の人がペットと暮らしています。また、暮らしたいと思っている人も多くいるようです。町でもペット対応の避難所を考えているか伺います。

(2) 子育て世帯が安心して避難所生活をできるよう、「妊産婦・乳幼児」のいる世帯への対応、また「駐車場の確保」等、様々な課題が今後増えると思いますが町ではどのような対応を考えているのか伺います。

一 般 質 問

議席番号	7	議員氏名	保 泉 周 平
項目・要旨	1. 寄居町内を流れる河川の環境整備について		
	<p>以前、農業集落排水と河川の環境整備について、用土地内を流れる藤治川と西藤治川を歩いて周辺を確認したところ、水の流れによりますが、淀みが濁り異臭がするところもありました。それだけではなく、土手際には大きな草木、篠や竹までもが生い茂るところが多くあり、特に危険防止のところもひどい状況でした。このような状態では環境整備ができているとは言えません。</p> <p>広報よりい5月号の中に、令和5年度主要河川実態調査結果が報告されておりました。調査目的は、「今後の生活排水処理対策事業に反映させること」とあり、町内27河川30地点を毎年1回、10地点ずつ調査するとありました。調査結果を見ると、水質状態が「きれい」が5か所、「きわめて汚い」が4か所。これでは環境整備がなされているとは思えません。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 河川の汚れの要因はどのようなことか伺います。</p> <p>(2) 河川の維持管理はどのようなになっているか伺います。</p> <p>(3) 河川に流れる水は生活排水が年間を通して流れています。「きわめて汚い」4か所の要因分析をしたか伺います。</p> <p>(4) 西藤治川ですが、以前もお願いしましたが、川に沿った篠などの刈り取りはできますか。</p>		
	2. 移動販売事業の展開について		
	<p>峯岸町長の令和6年度の行財政運営に関する所信表明の中の1つとして、地域コミュニティ再生にかかる移動販売事業の展開であります。近在では長瀬町・横瀬町・滑川町・吉見町・加須市・行田市等の市町が開始しているとのことです。寄居町よりそい事業として企業連携で行い、買い物支援により近隣に店舗がない高齢者の方等の利便性向上と、それを軸とした地域コミュニティの再生・発展を目指します。とあります。高齢化する中であり、運転免許証返納も増えていく中、生活支援体制整備事業の推進として、買い物に困難を感じている高齢者の利便性向上と地域コミュニティ向上の為、有効な事業と同感いたします。そこで概要について伺います。</p> <p>(1) 連携企業の概要と協定状況を伺います。</p> <p>(2) 予算200万円の内容を伺います。</p> <p>(3) 実施するにあたり、各地域の人々に意見は集約しているか伺います。</p> <p>(4) 今秋スタートと聞きましたが、地域を巡回する計画の考えを伺います。</p>		
	3. 路線バス運行について		
4月からトラック・バスの運転手、建設作業員らの残業規制が強化されました。働			

き方の転換点を迎えた今、規制強化による影響が各地で、各会社で出始めました。そのため、大手路線バス会社では、運転手の残業の上限が規制されたことにより、慢性的な運転手不足となり、路線の維持が難しくなっているとされています。その他には、地域バスの運行にも埼玉県南部、西部に撤退の意向が出ているようです。

そこで、寄居町としては県北都市間路線バスと東秩父村路線バスがありますが、状況を伺います。

- (1) 運行管理状況を伺います。
- (2) それぞれの路線、年間利用状況を伺います。
- (3) 存続に問題ないか、伺います。

一 般 質 問

議席番号	15	議員氏名	原 口 孝
項目・要旨	1. ヤングケアラーについて		
	<p>「ヤングケアラーって何?」、今年3月に人権教育啓発広報誌「みんなのねがい」で特集を組んでいます。</p> <p>本来、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。埼玉県ではケアラー支援条例を制定し、基本理念を定め、支援に関する施策を推進することで、すべてのケアラーが健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現を目指すとしています。寄居町の現状はどうでしょうか。そこで伺います。</p> <p>(1) 現状の把握と変化をどう捉えているのか伺います。</p> <p>(2) デリケートな課題であるが、町行政としての対応はできているのか伺います。</p> <p>(3) 一課での対応には限界があると考えますが町の考えを伺います。</p> <p>(4) 行政のネットワークを構築する必要性を考えるが、町の受け止め方、考えを伺います。</p>		
	2. カスタマーハラスメントの条例制定について		
	<p>町職員に対し、迷惑行為や嫌がらせ等、業務に支障が生じる行為に対し、「それ以上はカスハラです。」と、条例を制定し、周知することにより、相手に忠告しやすい環境や抑止効果にもなると考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 現在、職員からの問題等の相談があり、検討されたことはあるのか、伺います。</p> <p>(2) 問題への線引きの課題、難しさはあるが条例制定をすべきと考えるが、町の考えを伺います。</p>		
3. 寄居町と商工会との連携について			
<p>商工会は駅前新拠点として「SPARK」を開設し、人を繋ぐハブ機能を持った施設となりました。議会広報誌の取材において、SPARK、商工会の役割、必要性を強く感じたところです。今後、想定される人口減少や企業の後継者不足等、寄居町を取り巻く経済環境は衰退していくことが予想されます。中小企業庁長官の令和6年度の年頭所感においても、ゼブラ企業の創出を述べています。時代の変わり目を強く感じ、更なる連携強化が必要であり、企業誘致は重要課題であるが、時代の変化と共に育成することも重要であります。そこで伺います。</p> <p>(1) 商工会の年次計画への町の理解・協力度はどの程度か伺います。</p> <p>(2) 連携の必要性を感じ、役割分担はできているのか伺います。</p> <p>(3) 寄居町の絶大な信用性をもってバックアップすることが重要と考えるが、その受け止め方を伺います。</p>			

一 般 質 問

議席番号	9	議員氏名	笠 原 則 夫
項目・要旨	1. 折原駅のトイレ設置について		
	<p>人口3万人規模の町に9つの駅があることは、寄居町の利便性を誇れるところだと思います。長年懸案だった中心市街地が整い、今後は雀宮公園や鉢形城跡等の回遊性がより高まると予想されます。</p> <p>併せてレイル&トレイルやハイキングの起点として、町内の駅に集まっているハイカーを時々目の当たりにして、折原駅にはトイレが設置されていないことを思い出します。そこで伺います。</p> <p>(1) 改めて折原駅にトイレが設置されない理由を伺います。</p> <p>(2) トイレの設置をJRに求めたことがあるならば、その回数や経緯を伺います。</p> <p>(3) 埼玉県内に折原駅の外、トイレがない駅が存在するのか伺います。</p> <p>(4) 折原駅付近を歩くハイカーを見かける時があるが、駅付近に観光トイレ設置を考えているのか伺います。</p>		
	2. 「自立持続可能性自治体」について		
	<p>民間組織の「人口戦略会議」が「消滅可能性のある自治体」について、4月に発表しました。今回埼玉県内は16の市町村が該当とされ、10年前の最初の発表に続いて寄居町もその中に入っています。</p> <p>その様な指摘をされて、町も手をこまねいているだけだとは思いませんが、そこで伺います。</p> <p>(1) 10年前の発表後、改めて今回「消滅可能性のある町」と指摘されたことへの所感を伺います。</p> <p>(2) 10年前と比較して、今回は「若年女性人口が改善された」と指摘されましたが、その要因を伺います。</p> <p>(3) 少子高齢化の時代に人口を維持して行くのは難しい課題だと思いますが、改めて寄居町が今後注力して行く改善策について伺います。</p>		
3. 運動部活動の地域移行について			
<p>中学校部活動の週末地域移行が2023年より始まり、2025年までが推進期間とのことです。2年目の今年、寄居町はどのような移行方法を、またどのような形を考えているのか伺います。</p> <p>(1) 当町での地域移行の進捗状況について伺います。</p> <p>(2) 地域移行の当町ならではのメリットについて伺います。</p> <p>(3) 地域移行の当町ならではの課題について伺います。</p>			

一 般 質 問

議席番号	3	議員氏名	吉 田 林 藏
項目・要旨	1. 防災危機管理について		
	<p>災害発生時の対応、防災機器への備え、生命と財産を守るべく自助、公助、共助の原則を通じ防災、減災に対して十分な意識、知識、技能を有し、災害発生時の避難誘導、人命救助、さらに災害発生後の復興活動が必要になります。</p> <p>現時点でも、多発する大地震、火山の噴火、ゲリラ豪雨、積雪害、風水害、土砂災害等で甚大な被害を被っています。今後、必ず起こりうる大災害を想定し、一人ひとりが防災減災の知識を身に付けておく必要があります。</p> <p>今後予測される首都直下地震、南海トラフ地震等が予測されますので、防災危機管理対策が不可欠です。そこで町の考えを伺います。</p> <p>(1) 町では、防災備蓄品の管理を独自のスプレッドシートで管理されているか伺います。</p> <p>(2) 災害対策標準化が遅れている場合は、品質効率面の課題があり、他の組織との情報共有も考慮されていないことが多く、防災力向上をさまたげているか伺います。</p> <p>(3) 過去の震災において国は巨額予算で復興を後押ししたが、すべてが有効活用されたとは言い難いです。土地区画整理事業で被災の土地整備をしても時間がかかり過ぎて、多くの人々が故郷を離れてしまいます。震災等により、人口が減少することについての考えを伺います。</p> <p>(4) 想定される南海トラフ地震の経済的被害額は最悪220兆円と推計されています。戦略的な備蓄や代替先の確保などの備えで、供給網への打撃を抑え経済被害を軽減できれば復興の負担も軽くなると思われませんが、町の考えを伺います。</p>		
項目・要旨	2. 認知症共生社会について		
	<p>令和5年6月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法が成立しました。昨年9月には初となるアルツハイマー病治療薬（レカネマブ）が日本で正式承認され、保険適用となっています。認知症の原因として一番多い疾患がアルツハイマー病です。脳内にアミロイドベータというタンパク質がたまることで神経細胞が徐々に壊れ、認知機能に異常が起きて言葉や行動に影響が出ると考えられています。高齢化が進む中でも、持続可能で誰もが心身共に健康で自分らしく生きられる町づくりについて伺います。</p> <p>(1) 公共施設内に認知症フレンドリーセンターを開設予定はあるかどうか伺います。</p> <p>(2) 2024年度は6年に1度となる診療報酬と介護報酬が同時に改定される年にあたります。町では高齢者が住みなれた土地で医療や介護のサービスを受け</p>		

ながら生活を続けられる地域包括ケアシステムを目指しているか伺います。

3. 熱中症対策強化について

2024年度も前年度に匹敵するような猛暑になる可能性があり、学校現場では子どもたちの命につながる熱中症事故を未然に防いでいく必要があります。そこで熱中症リスクが高まる梅雨明け後の季節に備えた、学校管理下での暑さ対策について町の考えを伺います。

(1) 教職員全員が暑さ指数計を用いて、校内の暑熱環境を見える化し、児童生徒に対して適切な熱中症対策を講じているか伺います。

(2) 体育や部活動を指導する先生は、熱中症のⅠ度（軽症）、Ⅱ度（中等症）、Ⅲ度（重症）がどういう状態であるかと、それぞれの応急処置の仕方を知っておくことが必要だと考えますが周知されているかどうか伺います。

一 般 質 問

議席番号	5	議員氏名	久 保 鷹 矢
項目・要旨	1. ふるさと納税で地域課題を解決へ		
	<p>現在、ふるさと納税制度において、各自治体では「返礼品」と「寄附用途」に独自の色を出し、差別化を図っています。返礼品には、単に地域の名産品だけでなく、その地域で味わえる「体験」や「イベント参加」、さらに「空き家管理」や「電気代」など生活に必要なサービスが提供されています。「寄附用途」についても、より具体的にその自治体で予算が欲しい分野や事業を指定し、寄附を募るなど、問題解決のツールとして有効に活用されていると考えます。それらを踏まえ、この制度は単なる自主財源を手に入れる手段ではなく、問題解決手段、行政の実験場、シティプロモーションとしても有効であると考えます。寄居町としても創意工夫を凝らし、地域活性化と知名度向上のためにこの制度にさらに力を入れるべきだと考えます。そこで、数点伺います。</p> <p>(1) 令和6年度のふるさと納税制度に対する方針を伺います。(返礼品開拓、寄附用途の具体化、広告戦略など)</p> <p>(2) 地域通貨に関連した「ふるさと納税ポイント」を返礼品として提供している自治体があります。寄居町として検討しているか伺います。(ハチペイ、さるぼぼコイン等)</p> <p>(3) 電子決済アプリ「チョイスPAY」の導入状況や検討内容を伺います。</p> <p>(4) 観光拠点やゴルフ場などでそのまま寄付が行なえる、「寄付用型自動販売機」について検討内容を伺います。</p> <p>(5) 以下の内容を返礼品として提供できないか伺います。</p> <p style="margin-left: 20px;">①寄居玉淀水天宮祭有料観覧席 寄居の食材をふんだんに使用したお弁当付き</p> <p style="margin-left: 20px;">②寄居北條まつり 甲冑隊として参加する権利</p> <p>(6) 特定の事業やプロジェクトに対応した寄附用途の設定や、「クラウドファンディング型のふるさと納税」の検討状況について改めて伺います。</p> <p>(7) ふるさと納税の返礼品開拓、プロモーションを専門業者に委託する方法について検討状況を伺います。</p>		
	2. 業務で発生する職員自己負担費用について		
<p>業務で発生する「名刺費用」、「会合等参加費用」について質問いたします。自治体職員は名刺の作成費用を自費負担しているケースが多いと認識しております。名刺については業務上必要となる場合があり、自費負担となると職員の金銭負担が課によって、配置先によって異なるケースが生じ、モチベーションにも影響が出るのではないかと懸念しております。</p> <p>その中で、昨年の中省庁職員の名刺等自費負担を改善するよう提言がされるなど、公費についての考え方に変化の兆しが見られます。寄居町としても現状を把握</p>			

し、ルールを設けて改善する必要があると考えます。また、会合に出席する際も職員が自費で出席しているケースがあると認識しております。こちらについても、公費支出基準や出席方針などをルール化し、職員の負担を軽減させる必要があると考えます。職員の負担を軽減させることは、職場の魅力向上につながり、人材不足の解決や離職率の軽減にも期待が持てます。

これらの現状を明らかにし、対策を考えるため、いくつか質問いたします。

- (1) 何割の職員が名刺を作成しているのか伺います。
- (2) 自費負担について町として考えを伺います。
- (3) 自己負担額は1年でどの程度負担しているのか伺います。(おおよその平均と最大額)
 - ①名刺代
 - ②会合等の会費、食事代
- (4) 名刺の所持作成や会合出席の必要性について考えを伺います。
- (5) 名刺及び会合等の会費、食事代の基準やルール設定の必要性について考えを伺います。
- (6) 一部の自治体では「シティプロモーションカード」として自治体PRの機能をもった名刺を公費負担しております。寄居町でもそのような考えはあるか伺います。
- (7) 他に業務上発生する費用の中で、職員の自己負担になっているものがあるか伺います。

一 般 質 問

議席番号	1	議員氏名	里 見 夕 子
項目・要旨	1. 役場・公共施設窓口等への軟骨伝導イヤホン導入について		
	<p>一般社団法人日本補聴器工業会の2022年度調査によりますと、日本の難聴者は人口の10%、人数に換算すると約1300万人にのぼり高齢化の進展に伴い今後さらに増えるの見込まれています。一方、同調査では医療機器が高額なことなどを理由に補聴器所有率が僅か15.2%しかないことも分かっています。こうした中、東京都狛江市では高齢者等、耳が聞こえにくい方と円滑にコミュニケーションを取れるように、市役所内の市民課と福祉総合相談窓口の2か所に軟骨伝導イヤホンを導入しました。</p> <p>軟骨伝導とは、耳付近の軟骨を振動させることで音を伝える技術のことです。通常の気導イヤホンのように耳をふさがらないため明瞭な音が聞こえ、頭蓋骨を震わせ音を伝える骨伝導と比べて装着時の痛みもなく音漏れも少ないとされています。</p> <p>狛江市では、これまで耳が聞こえにくい方に対して、大きな声や筆談で対応していたのですが、軟骨伝導イヤホンの導入によって、これまでより円滑なコミュニケーションが可能になり、更にプライバシー保護にもつながっているとのこと。そこで伺います。</p> <p>(1) 寄居町において、高齢者の方や耳の聞こえにくい方への現状の窓口対応はどのように行っているのか伺います。</p> <p>(2) 軟骨伝導イヤホンの普及は高齢化に伴って、今後増えていく難聴者の福祉に寄与するものであります。ぜひ寄居町においても役場や公共施設窓口への導入を提案致しますが町としての見解を伺います。</p>		
	2. 特定健診について		
<p>峯岸町長が示した、令和6年度の行財政運営に関する所信表明の基本目標3「支えあいとふれあいのある健康長寿のまち」の中に、「特定健診・特定保健指導の未受診者勧奨に引き続き取り組み、受診率の向上に努める。」とあります。そこで伺います。</p> <p>(1) 寄居町の特定健診受診率の現状と目標数値を伺います。</p> <p>(2) 受診率向上に向け、現在行っている取り組みと、今後の具体的な取り組みを伺います。</p> <p>(3) 最近テレビCMで「40歳を過ぎたら眼底検査を」と眼底検査を推奨するCMが流れています。眼底には、目や全身の病気の早期発見につながる情報がつまっています。寄居町としても特定健診の際、医師が必要と判断した場合、貧血検査・眼底検査を行っているようですが、糖尿病網膜症や緑内障など失明の恐れのある疾患を早期発見できる眼底検査を特定健診の必須項目に加えて頂けないか伺います。</p> <p>(4) 現在、寄居町の特定健診の尿検査項目は尿タンパクと尿糖のみです。そこに腎</p>			

臓の病気や前立腺がん・膀胱がんなどの疾患の早期発見につながる尿潜血検査を加えて頂けないか伺います。

- (5) 所信表明の中に「脳血管疾患等の予防のため新たに町民のみなさまに高血圧予防の健康指標であるナトリウム・カリウム比率を表すナトカリの考え方の普及に取り組む」とあります。新潟県三条市では、特定健診の際、希望者に対して尿ナトリウム・カリウム比の検査を行い、このナトカ리를分かりやすく数値で表し市民の方に意識づけをさせ高血圧予防につなげています。ぜひ寄居町としてもこの尿ナトリウム・カリウム比の検査を特定健診に加えて頂けないか伺います。

一 般 質 問

議席番号	14	議員氏名	稲山良文
項目・要旨	1. 移動販売について		
	<p>高齢社会を迎え町民要望を捉え、愛のりタクシーの町外への実証運行、移動販売事業等、目に見える事業展開、峯岸町政のやる気を感じる施策と言えます。高齢者社会は益々進展し、健康の問題、一人家庭さらには高齢者の運転免許証の返納などにより遠距離通院難民、買い物難民が増化の傾向にあります。良い事業を展開したものと考えます。</p> <p>この事業が町民に喜んでいただける、そして実効制のあるものにしていくため次の点について伺います。</p> <p>(1) 移動販売事業の基本計画もしくは概要について伺います。</p> <p>(2) 長瀬町ではすでに実施していますが視察などはしたのか伺います。</p> <p>(3) 問題、課題点はどのようなことが考えられるのか伺います。</p> <p>(4) 長瀬町のように薬剤師とのオンライン相談ができるのか伺います。</p> <p>(5) 地域の公民館を基本に移動販売車を運行するとのことですが、それ以外でも運行は可能か伺います。</p> <p>(6) 区民交流の場としても生かしていきたいとのことですが、テーブルやイス等を設置する考があるのか伺います。</p> <p>(7) 周知方法について伺います。</p> <p>(8) 運行計画について町民の意見を聞く機会があるのか伺います。</p>		
	2. 地域公民館のトイレ設備状況について		
	<p>地域の公民館は館長が主体となり各種教室が開催されています。更に災害時の指定避難所にもなっています。各事業の教室の参加者も高齢者が多数を占める状況です。</p> <p>利用者に話を伺ったところ、「トイレの設備を改善して頂きたい」、「階段の上り下りが大変なので改善してほしい」との要望が多くありました。地域住民の交流の場、高齢者の生きがいの場である、地域公民館のトイレ設備状況について伺います。</p> <p>(1) 各地域公民館の男女別トイレの設備状況について伺います。</p> <p>(2) ウォシュレット保温型便座の洋式トイレを設置する考があるか伺います。</p> <p>(3) 超高齢社会を迎え、災害時の指定避難所である地域公民館のトイレ設備、階段の昇降問題などの様な考えなのか伺います。</p>		
	3. 小中学生の遠距離通学について		
<p>城南中学校区の小学校の集約問題が提起されています。鉢形、折原小学校の老朽化、少子化、児童減少等による複式学級解消のため新校舎建設の予定が進められています。児童、生徒、保護者並びに関係者の一番の不安、心配は遠距離通学にあり、ス</p>			

クールバスの運行に強い要望が寄せられています。行政、教育委員会においても実現あるいは要望に応えるべく前向きに検討する必要があると考えます。それに付随し、寄居、男衾、桜沢、用土小学校の通学にも大きく影響が現れてくるのも事実ですが次の点について伺います。

- (1) 小学校の遠距離通学についてどのように考えているのか伺います。
- (2) スクールバスの運行についての考えを伺います。
- (3) 運行条件はどのように考えているのか伺います。
- (4) 公共交通機関など、利用できる手段がある時についての考えを伺います。
- (5) 少子化、子育て支援対策においても鉄道、バス等の通学定期券代の全額補助または、一部補助をすべきと考えますが、教育委員会の考えを伺います。

一 般 質 問

議席番号	2	議員氏名	浅見 玲子
項目・要旨	1. 城南学校区集約化について		
	<p>5月9日に、城南中学校区学校再編整備方針及び統合実施計画（案）に関する説明会が城南中学校で開かれました。そこで、折原小学校の保護者数人から「私たちは、この資料を見るのは初めてです。説明会を再度やってもらえませんか。」という声がありました。確かに2020年1月に町内8か所で「公共施設等管理計画」（アクションプラン）の説明会后、不幸にもコロナパンデミックとなり、全町民を対象とした説明会がもたれることがありませんでした。ちなみにその時の参加は、折原11人、鉢形18人、全町で131人でした。</p> <p>5月9日の資料の中に、方針決定の経緯として令和5年3月に城南中学校区の住民説明を開催とありますが、区長など区の3役、民生委員・児童委員、PTA会長が対象で、今回のように誰でも参加できるものではありませんでした。その後ワークショップが9月から全5回行われたわけですが、住民の意見を代表するという意味合いのものではなかったようです。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 今回の説明会が、該当住民が誰でも参加できる初めてののものであったという認識はありますか。</p> <p>(2) 今後の進め方について、伺います。5月9日の説明会において「ワークショップでは、保護者の代表という自覚はなかった。」という声がありました。今後設置される委員会等に、保護者や区長が代表として参加していることを意識してもらうために、どのようにしていけばいいと思いますか。</p> <p>(3) ワークショップに参加していた方たちからは、「俺たちのような年寄りを集めないで、もっと若い世代を集めた方がいい。」という意見や、保育園に子どもを預けている保護者からは、「私たちの問題なのに、なぜ呼ばれなかったのか。」という声もありました。メンバーの構成や比率について、これらの声を今後設置される委員会等に反映してもらえるか伺います。</p>		
2. 観光トイレについて			
<p>長瀨町では、観光に力を入れているだけあって驚くほど観光トイレ（公衆トイレ）が充実しています。寄居町も豊かな自然を生かしたハイキングコースが町の売りとして紹介されています。</p> <p>その一つとして車山を鉢形城攻防戦の一つの名所としてもっと宣伝していいのではないかと思います。かつて鉢形城が豊臣軍に攻撃されたとき、車山に大砲が運ばれ、そこから鉢形城に向けて大砲が発射されたということです。しかし、車山のハイキングをはじめ、折原駅周辺の観光をしようという時、気になるのはトイレのことで、一般的には「駅に行けばトイレがあるはず。」と思うのではないのでしょうか。</p>			

残念ながら折原駅にはトイレがありません。コンビニなども近くにありません。駅にトイレを設置するのは無理でしょうが、近くに観光トイレを設置するのは、町の判断でできるのではないのでしょうか。そこで伺います。

(1) 折原駅の近くに観光トイレを設置する考えはありませんか。

(2) ハイキングコース（車山コース）の途中で観光トイレを設置する考えはございませんか。

3. 観光名所として荒川をもっと生かす取り組みについて

今年のゴールデンウィーク後半は天候に恵まれ、かわせみ河原は連日たいへんな人で賑わいました。河原に続く道は車の列ができ、午前中の早い時間には入場制限がかかり大変な状況でした。海外から日本に来る人は高級志向になっているようですが、残念ながら日本人は物価高騰に見合う収入が得られない状況が続いており、「安・近・短」のレジャー志向が続いているものと思われます。かわせみ河原のことは、ネットや口コミで広がっており、寄居町の観光名所となっています。そこで伺います。

かつて、かわせみ河原を町が管理できるよう県土整備事務所と協議したように、立ヶ瀬河原、玉淀河原についても県と協議し、株式会社まちづくり寄居に委託して環境美化協力金をいただくような形はとれないのか伺います。

一 般 質 問

議席番号	10	議員氏名	大澤 博
項目・要旨	1. 愛のりタクシーについて		
	<p>愛のりタクシーは、高齢者に好評で、近隣の病院まで運行が出来ないかとの多くの声が出され、令和6年度に予算化され、町外便実施に向けて実証運行が行われます。運行計画（案）については、町民に向けて意見募集が実施されています。町民の意見要望を募り、さらなる利便性の向上を進めると考えます。町民からは期待の声が多くあります。運行計画（案）と「デマンドタクシー利用環境の改善」について伺います。</p> <p>(1) 実証運行は、小川赤十字病院と県立循環器・呼吸器病センターです。深谷赤十字病院への愛のりタクシー運行はどのように考えているのか伺います。</p> <p>(2) 小川赤十字病院と県立循環器・呼吸器病センターの診療は、曜日ごとに専門医が変わり診察をしています。小川赤十字病院は、月・水・金曜日、循環器・呼吸器病センターは、火・木曜日に設定した理由を伺います。</p> <p>(3) 愛のりタクシーの平均乗車率は約50%前後と聞きました。週の前半の午前中に予約が集中していると聞いています。週前半の午前中の予約数に対し予約出来ない数はどの位になるのかを伺います。</p> <p>(4) 意見募集の結果は、町外便実施の実証及び本格運行へ反映されるのか伺います。</p> <p>(5) 今後予約のデジタル化が進められると考えますが、利用者の多くは運転免許証を返納した高齢者です。電話による予約も残すべきと思いますが、考えを伺います。</p>		
	2. 高齢者の健康向上について		
<p>町では、第1次寄居町健康長寿計画の終了にあたり、健康づくりと食育に関するアンケート調査を検証し、第2次寄居町健康長寿計画が令和5年度からスタートしています。アンケート結果からみると高齢になるほど、「あまり健康ではない」、「健康ではない」が増加しています。人生100年時代と言われ、元気な高齢者が多くいます。町では、高齢者の＜健康長寿延伸プログラム＞健康ウォーキング教室～健康の一步は脚から！楽しく歩いて元気に！～をキャッチフレーズに計画されています。そこで高齢者への健康増進について伺います。</p> <p>(1) 車が運転できる高齢者は、「健康長寿延伸プログラム 健康ウォーキング教室」に参加し健康増進することができます。運転免許証を返納した高齢者への健康増進をどうするのか伺います。</p> <p>(2) 地域ごとに体操指導員を派遣して、健康増進教室を開催し健康増進を行うことにより医療費の抑制ができると考えますが、町の考えを伺います。</p>			

3. 廃食用油について

廃食用油は廃棄すればごみに、リサイクルすれば資源になります。事業工場から排出される廃食用油は大半がリサイクルのために回収されています。廃食用油をリサイクルせずに焼却など他の方法で廃棄すると、排出された食用油の量の倍以上の水が必要になり資源を浪費することになります。

一般家庭から排出される廃食用油の回収率は低いです。回収された廃食用油は精製して、バイオディーゼル燃料（BDF）としてリサイクルします。ディーゼル車にBDFの使用により、排出されるCO₂の減少、硫黄酸化物は大幅に減少（約90%）、黒煙は軽油と比較して大幅に減少（約60%）され、環境負荷の低減に大きな効果があります。ディーゼル車やディーゼルエンジンを改造することなく使用でき、軽油と同等の燃費と走行性があります。そこで家庭からの廃食用油の回収について伺います。

- (1) 近隣の自治体の群馬県前橋市では、廃食用油回収ボックスを設置して平成26年9月から回収しています。当町でも実施出来ないか伺います。
- (2) 廃食用油を回収し、資源化するのには多くの課題があると考えます。当町には彩の国資源循環工場があります。この工場関係に廃食用油を回収し、リサイクルする工場を誘致するか又は対応可能出来る工場はあるのか伺います。

一 般 質 問

議席番号	1 2	議員氏名	鈴 木 詠 子
項目・要旨	1. 災害代理寄付について		
	<p>災害代理寄付とは被災していない自治体が代理で寄附を受け付けて、いち早く被災地に届けるためのものです。代理寄附自治体は、被災自治体のために寄せられた寄附金に対する納税証明書発行の業務を行い、寄附金を被災自治体に届けるという自治体同士の助け合いの仕組みです。</p> <p>ふるさと納税で寄せられた寄附金を自治体が受け取るためには、納税証明書を発行して支援者に郵送しなくてはなりません。被災直後にはこの事務作業自体が被災自治体の負担になっています。今回の能登半島地震での災害代理寄付の支援実績は、最も実績の多いふるさと納税サイトにおいて、既に寄附金額が15億円を超えています。当町でも、ふるさと納税の災害支援代理寄附の受付を開始すべきと考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>(1) 被災地への寄付（募金等）の現状について</p> <p>(2) 災害代理寄付の実施について</p>		
	2. 地籍調査の現状と今後の取り組みについて		
	<p>地籍調査とは、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目、境界の位置と面積を測量し土地の戸籍である「地籍」の明確化を図るものですが、現在、全国的に地籍調査の実施についての推進が呼びかけられています。</p> <p>この調査の目的は「土地境界トラブルの未然防止」や「公共事業の円滑化を図る」等とありますが、昨今では特に「被災後の復旧・復興の迅速化」を図るための「災害の備え」としての重要性も注目されており、国、県でも調査のための補助制度を確保し、その実施を促しています。</p> <p>埼玉県令和4年度での地籍調査の進捗率は約32%（全国平均52%）、着手率は70%（全国平均93%）と全国平均を下回っていますが、県内未着手の自治体19市町村の中に寄居町も挙げられています。この現状について当町の考えを伺います。</p> <p>(1) 調査に着手していない理由について</p> <p>(2) 地籍調査の必要性と実施について</p> <p>(3) 所有者不明土地の解消について</p>		
	3. 働き方改革における「ChatGPT」の活用について		
<p>埼玉県は昨年度より「ChatGPT」などの生成AIの使用のルールをまとめたガイドラインを作成し、文章要約や情報収集といった県庁内で完結する業務への試験導入を始めています。当町でも今年度、「書かない窓口」等の事業をスタートさせ「行政のデジタル化」を推進していますが、さらなる業務の効率化を図るための「C</p>			

h a t G P T」の活用について伺います。

(1) C h a t G P Tの活用で考えられる業務の効率化について

(2) これまで学校現場において手作業で行っていた多くのタスクを自動化し、時間と労力を節約できるとの事例もあります。教育現場での活用の考えについて伺います。